

科目名	現代音楽の解釈と奏法	授業期間	通 年
担当教員	西村朗	科目 No.	GEN2278
受講対象	作曲を除く全専攻 2～4年	単位数	4単位

目 標 ／ 概 要	<p>目標：現代音楽に対する理解と感性を育み、同時に実際の演奏表現方法を理解することを目標とする。</p> <p>概要：20世紀後半以降の作曲家の仕事は多様化し、作品の内容、記譜法、奏法等の点で、従来の知識を越えるものを演奏家に求めるケースも増えてきた。今後、演奏活動を展開する上でそれらについての認識と実践の能力の取得は不可欠と言える。この授業では、現代音楽の流れを、作曲家と演奏家の両面の視点からとらえ、解説する。映像資料等も活用し、必要に応じて各楽器の教員の指導を加え、説明する。</p>
-----------------	---

授 業 計 画	春 学 期					
	1	「20世紀の作曲と演奏」導入				
	2	「20世紀の作曲と演奏」総論				
	3	後期ロマン派末期の様相				
	4	印象派の音楽				
	5	非西洋圏の影響				
	6	表現主義				
	7	セリエールの音楽 導入				
	8	セリエールの音楽 総論				
	9	社会主義リアリズムの音楽 導入				
	10	社会主義リアリズムの音楽 総論				
	11	メシアン音楽語法				
	12	神秘主義の音楽				
	13	トータル・セリエールの技法				
	14	J. ケージの音楽				
	15	まとめ				
	秋 学 期					
	1	ポスト・セリエール 導入				
	2	ポスト・セリエール 鑑賞と各論				
	3	ポスト・セリエール 総論				
	4	ミニマル音楽 導入				
	5	ミニマル音楽 総論				
	6	新しい単純性				
	7	新しい複雑性				
	8	演奏における限界への挑戦				
	9	コンピューター音楽				
	10	東アジアの作曲				
	11	日本の現代音楽				
	12	スペクトル音楽				
	13	日本の伝統文化と現代音楽				
14	他の芸術ジャンルとの関連					
15	まとめ、理解度の確認					

準備学習の内容	配付されたプリント等、よく読み、復習すること。					
履修上の注意						
評価方法	試 験	課題(レポート含)	発 表	平常点	その他	合 計
		100%				100%
	補 足					
教材等	適時、教員より配付する。					